

公開講座

「国家と測量」

第1回 近代測量の黎明と明治期の測量機関

我が国の近代測量は、明治2年の民部官庶務司戸籍地図掛の設置以来、150年を迎えようとしている。実測日本図を初めて作成した伊能忠敬の没後200年も間近である。我が国の測量・地図史の画期となるこのようなときに、国家が行ってきた測量・地図の歴史をたどり、国家にとって測量・地図が如何に重要であるかを考えてみたい。

- 日時 平成28年7月19日(火) 16:00～17:30 16時より
※公演は、16:00～17:00
 - 会場 (公社)日本測量協会 第二研修室(文京区白山1-33-18 白山NTビル5階)
 - 講師 星埜由尚氏
(元)国土交通省 国土地理院長
◆著書 伊能忠敬：日本をはじめて測った愚直の人(山川出版社)他
 - 参加費 無料
 - CPDポイント 測量CPD1ポイント
 - 定員40名
 - 申し込み方法 事前登録が必要です
※受付システムから登録してください
- 問い合わせ先 Tel:03-5684-3355(担当: 小林 俊雄)

[お申し込みはこちら](#)